

24京都国民春闘討論集会

日時 **12月3日(日)**
10時～16時30分(予定)

会場 **和牛登録会館**

京都総評

京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第 285 号

発行所
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都地方労働組合総評議会（京都総評）
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL https://www.labor.or.jp/sohyo/
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター

電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

賃金・所得を増やす 世論を大きく

行動には、京都医労連を中心に、福祉保育労や全国一般、建交労など

11月9日の全国統一行動で、「ケア労働者の大幅賃上げアクション」として京都タワー前宣伝行動が行われました。来年は、医療・介護・障害の3報酬が改定されます。ケア労働者の賃上げには3報酬の引き上げが欠かせません。報酬の大幅引き上げと賃上げを求める宣伝です。

ケア労働者の大幅賃上げを

ア労働者を組織する労働組合などが参加し、医療・介護・障害職場の実態を告発し、賃上げの実現を訴えました。街頭署名では、足を止めて署名に協力してくれる人がたくさんありました。

「最賃 1500円」に

全国統一行動に呼応し、「労働組合に入って賃上げ実現！ 最低賃金を今すぐ1500円に！」

秋季年末闘争

賃上げとともに、暮らし

「暮らせる年金」の実現を

宣伝を四条大宮と二条駅前、2カ所で行った。「労働組合に入って、いっしょに賃上げを実現しよう」「最低賃金を今すぐ1500円に」と訴え、横断幕やプラスタを掲げて宣伝し、街頭署名に取り組みました。「最低賃金1500円に」の訴えに耳を傾ける人、配布



11.11 年金一揆

したチラシを広げて読む高校生、署名コーナーで署名する人など、「賃上げ」「最賃引き上げ」への関心が高いことが感じられる宣伝でした。

公務・民間・地域 一体で

23春闘から続く、秋季

年金は、物価が上がってもそれに見合う引き上げが行われず、年金額の引き下げが今後も続けられることになり、「暮らせる年金」とは程遠いものになっています。これは現役労働者・青年労働者が年金受給するときに現在よりさらに低年金にさせられることになり、年金問題はまさに現役労働者の課題です。高齢者も若い人も力を合わせて「暮らせる年

11.9 タワー前宣伝 足を止めて署名してくれる市民



11.9 夕方宣伝最賃（二条駅前）

異常な物価高騰が続いています。賃上げ・年金改定はともに物価高に追い付かず、労働者・国民の暮らしはますます大変になっています。今こそ、「賃上げ・底上げ」「物価高騰を上回る年金引き上げ」が必要です。公務員賃金改善・会計年度任用職員の賃上げ・年末一時金闘争を公務・民間・地域一体で取り組み、「賃金・所得を増やす」との世論を大きくして、24春闘につなげていく秋季年末闘争をすすめましょう。

憲法9条を生かした 平和外交とは

憲法集会 in 京都



講演する猿田弁護士

11月3日に「11・3 憲法集会in京都」が円山公園音楽堂で行われ、1500名が参加しました。集会では、新外交イニシアティブ代表

でもあり、弁護士の猿田も「戦争を回避せよ」憲法9条を活かした平和外交とは」と題して講演されました。

本人の行動があるから戦争の可能性が高まっている。それがなければ日本が戦争になることはない」と発言され、台湾有事に関して、「日本政府として、台湾の即時独立をさせず、中国にも侵略をさせない。双方がレッドラインを越えないように外交で対話をする必要がある。一番の平和外交モデルは東南アジアの国々だ。外交で紛争を解決することはとても難しいこともかもしれないが、出来ないことはない。絶対に戦争は起こさせてはならない」と訴えられました。

TUBUYAKI

「京都市に国内最大級の給食調理施設建設」の新聞見出しに驚いた▼全員制の中学校給食は長年の保護者の願いだった。子どもが中学生の時に大変だったのがやはり朝の弁当作り。教育委員会は「愛情弁当」論で、そんなところに「愛情」を押しつけることに興味を感じた。選択制の給食が始まり今度は「食選力」という造語。選択制で「食選力」が養われる？なにそれ？だ▼急展開したのが、今年の初め。全員制給食実施に向けて今年度調査費がついた。長年の保護者の思いが叶うと喜んだ。そして検討会が始まった。最初こそ、小学校給食のよさが発言されていたが、センター方式に流れが変えられていった▼そこからは早かった。検討会での「センター方式」は市内2カ所が想定されていたが、京都市は市内1カ所でセンターをつくることになった。2万2千食分つくる「国内最大級」の施設だという▼いやいや給食施設に「国内最大級」は必要ない。求めているのは安心しておいしく食べられる給食だ。搬送時間や食中毒の影響のリスクも大きい。この拙速な決定の是非を市長選挙で問わねば。

